第５８回海外日系人大会＝ＴＯＫＹＯ　２０２０に向け日系パワーを結集！＝大会宣言文を掲載＝（中）

第58回海外日系人大会
The 58th Convention of Nikkei & Japanese Abroad

24日の国際シンポジウム「２０２０に向け新たな連携を」で基調講演を行う中前隆博外務省中南米局長(ＪＩＣＡ市ヶ谷ビル、海外日系人協会提供)

（２）東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツの新たな連携を提案します

　昨年、世界最大の日系社会を擁するブラジルで、リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックが開催され、五輪旗の東京へのバトンタッチに全世界が注目しました。ＴＯＫＹＯ ２０２０は、日本と日系社会が様々な分野で連携を深めるチャンスです。

　中南米日系社会は、スポーツを通じて次世代へ文化の継承を促し団結を図ってきた伝統があり、南北アメリカ大陸の日系人が横断的な親睦を図る「国際日系親善スポーツ大会」も２０１８年のチリ大会で２３回を数えます。

　またスポーツの世界では早くから日本の指導者が中南米に渡り、日系人の選手を育てたり、その国の競技レベルを飛躍的に向上させたりした実績が数多くあります。

　こうした歴史と実績を踏まえ、国民体育大会やインターハイなど日本国内の大きな競技大会に、海外日系人の参加を可能とする制度を新設するよう提案します。

　日本の地方自治体と各国の県人会など日系団体との交流を促す副次的な効果も期待できます。

　また、国際化に向けた農業の在り方の提言、対日観光を増やすための提言など、ＴＯＫＹＯ２０２０に向け、日系社会は日本のために新たな連携を提案していきます。

□□□